

ひよこ組

年少組

11月に入り、子どもたちの体力が着実についてきました。以前に比べて、給食の時間に眠くなるのが少なくなり、食後は自分でエプロンを袋にしまうことにも挑戦しています。室内遊びの滑り台では、順番を守って滑れるようになりました。園庭に出ると、自分で砂場道具を選んで遊び、友だちと一緒にベンチに座る、可愛らしい姿も見られます。また、キンモクセイの花や、落ち葉に興味を持つなど、自然に触れる機会も増えています。朝晩は気温が下がってきましたので、フードのない上着を持参してください。保育室は暖かいので、重ね着は避け、薄着を心がけて元気に過ごせるようにしていきたいと思います。

子どもたちは8日に行われるお店やさんごっこを楽しみにしています。行ったことのあるお店や、家の近くにあるお店など皆で思い出しながら、クラスでどんなお店を開くか考えました。はさみを使ったり、紙を丸めたり、のりで貼るなどの作業を通して商品作りを進めています。4月からの約半年で出来るがたくさん増えました。どんな商品を作っているのか、ぜひ、お子さまに聞いてみてください。11月は肌寒く感じる日も多くなり、上着を着て登園する日も増えてきます。上着はフードの無いもので、必ず記名をしてください。園では上着の着脱や畳み方、留め具の練習を繰り返して、「自分でできた」嬉しさや、達成感を大事にしています。ご家庭でもお家の方も一緒に、上着のファスナーやボタンかけ、畳み方を練習してみてくださいね。

こあら組

年中組

朝晩は肌寒くなってきましたが、日中は過ごしやすい気候の中、外で体を動かすことを楽しんでいるこあら組。運動会は、あいにくの天気で中止になってしまい残念でしたが、ミニ運動会を行い園庭でかけっこをしました。走ったり、保育者と手を繋いで歩いたり、一生懸命ゴールテープを目指し頑張っていました。10月は園外散歩にも行くことができました。バギーから車を見たり、犬を見つけて教えてくれたり、様々なものに興味を示しながら楽しんでいました。散歩では、友だちと手を繋いで歩くことも経験しました。ご家庭でも保護者の方と手を繋いで歩く機会を作ってみてください。衣替えの季節です。再度記名の確認をお願いいたします。

気温が下がり、寒さを感じて上着を着てくるお子さまも多くなりました。畳み方の確認をし、自分でロッカーにしまえるよう練習をしています。お店やさんごっこが近づき、各クラスで何を作って売るかを考え、ふじ組は「楽器屋さん」、うめ組は「電器屋さん」に決まりました。本物の品物に近づけるように、話し合いながら作っています。どんな商品を作っているのかお子さんに聞いてみてください。お店やさんごっこが終わると、クリスマス会に向けて練習が始まります。初めて劇に挑戦し、マイクの前に立って台詞を発表します。物語に親しみながら、演じる楽しさを味わっていききたいと思います。楽しい行事が待っています。体調管理に気をつけて過ごしていきましょう。

うさぎ組

年長組

秋から冬へとバトンタッチをする季節です。暦の上では立冬、今年もあっという間に冬を迎えようとしています。過ごしやすい日が増えてきて、お散歩に行く機会が増えてきました。先月は、柏西口第三公園まで、歩いてお散歩に行きました。どんぐりを拾うのに夢中だった子どもたち。「帽子」がついているどんぐりや、緑色の小さなどんぐりを、手一杯に拾って、「どんぐりいっぱい拾った！」と嬉しそうに袋に沢山集めていました。朝晩の冷え込みが厳しくなり、体調を崩しやすい時期がやってきました。とはいえ、日中しっかり動くと、汗はむ子も少なくありません。汗が冷えて風邪をひくことも考えられるため、調整しやすい衣服のご準備をよろしくをお願いいたします。

先日は芋掘りに行ってきました。畑に行くバスの中では「大きいお芋を掘るぞ！」と、やる気いっぱい会話していた子どもたち。大きくて太いさつまいもを見たときにはとても嬉しそうでした。次の日には「家族で焼き芋パーティーした！」「お母さんがポテトにしてくれた」など、お家での話もたくさん聞かせてくれました。今月はお店屋さんごっこがあります。それぞれみんなで話し合いをして決めたお店を開くことを楽しみにしながら準備を進めています。そして、いよいよクリスマス会の練習も始まります。劇の題材が決まると、役を決め、台詞の練習が始まります。ご家庭でもお話を聞いてみてください。寒暖差から体調を崩しやすい時期です。体調管理に気をつけて過ごしましょう。

《幼児 11月の目標》

◎冬の生活習慣について 手洗いや衣服の調整といった冬の生活習慣を身につけていきます。

- ・石鹸でしっかりと手を洗いましょう
- ・鼻水が出たらティッシュペーパーで鼻をかみましょう
- ・ポケットに手を入れて歩くと危ないので出しましょう
- ・防寒具のファスナーやボタンを留めましょう

◎けんか（葛藤、つまずき、いざこざ）について

お子さまが「ともだちとけんかした」とご家庭で話すことはありませんか。そのような話を聞くと心配になりますね。けんかは成長の一歩です。一歳の頃の「一人遊び」、そして二歳の頃の「平行遊び」（同じ遊びを並んで別々にする）を経て、幼児期に好きな友だちと一緒に何かをする「連合遊び」「協同遊び」へと移行していきます。他者に興味を持ち、関わるようになった中でけんかをするのは自然な姿です。数々のけんかを通して、様々な感情を経験し、自己をコントロールする力を身につけます。相手の気持ちに気づき、対人関係のルールを知り、心持ちを育む機会です。

- ・けんかをしたときは自分の気持ちを表現しましょう
- ・表現や解決が難しいときは周りの大人に「たすけて」と言いましょう